

建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定

工作物の新設許可申請書

《記入例・注意事項》

<p>該当する欄を囲む</p> <p>建築物 新築</p> <p>都市計画法第43条第1項の規定により、第一種特定工作物の新設の改築用途の変更新設の許可を申請します。</p> <p>申請日を記載</p> <p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>磐田市長</p> <p>許可申請者 住所 磐田市国府台3番地1</p> <p>氏名 磐田 太郎</p> <p>電話番号 0538-37-〇〇〇〇</p> <p>※ 手数料欄</p> <p>手数料は許可書をお渡す際に現金又は電子決済(PayPay)でお支払いください。</p> <p>申請者の住所(アパート名)・氏名・電話番号を記載</p> <p>申請地は字名まで記載 道路後退がある場合は、有効面積も記載(小数点以下第2位まで)</p>										
1	<p>建築物を建築しようとする土地、用途の変更をしようとする建築物の存する土地又は第一種特定工作物を新設しようとする土地の所在、地番、地目及び面積</p> <p>磐田市〇〇〇字△△△123番1、123番2</p> <p>地目：〇〇</p> <p>地積：登記(〇〇.〇〇㎡) 実測(〇〇.〇〇㎡)</p> <p>有効(道路後退がある場合)</p>									
2	<p>建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物の用途</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一戸建専用住宅</td> <td>建築面積 〇〇.〇〇㎡</td> <td>〇〇.〇〇㎡</td> </tr> <tr> <td>木造2階建</td> <td>延床面積 △△.△△㎡</td> <td>△△.△△㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>用途・規模 構造を記載</p> <p>小数点以下第2位まで記載</p>		申請	全体	一戸建専用住宅	建築面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡	木造2階建	延床面積 △△.△△㎡	△△.△△㎡
	申請	全体								
一戸建専用住宅	建築面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡								
木造2階建	延床面積 △△.△△㎡	△△.△△㎡								
3	<p>改築又は用途の変更をしようとする場合は、既存の建築物の用途</p> <p>用途・規模 構造を記載</p> <p>小数点以下第2位まで記載</p>									
4	<p>建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物が法第34条第1号から第10号まで又は令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物又は第一種特定工作物に該当するかの記載及びその理由</p> <p>令第36条第1項第3号ロ 市街化縁辺集落</p> <p>建ぺい率 〇〇.〇〇%</p> <p>容積率 〇〇.〇〇%</p> <p>高さ 〇〇.〇〇m</p> <p>敷地に対して建物の建ぺい率・容積率・申請建物の高さを記載</p>									
5	<p>その他必要な事項</p> <p>農地法第5条許可申請中(該当する場合)</p>									
<p>※ 受付番号 年 月 日 第 号</p> <p>※ 許可に付した条件</p> <p>※ 許可番号 年 月 日 第 号</p>										

- 備考 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 ※印のある欄は記載しないこと。
- 3 「その他必要な事項」の欄には、建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定工作物の新設をすることについての他の法令による許可、許可等を要する場合には、その手続きの状況を記載すること。

連絡先を必ず記載

連絡先(名称・担当者名・TEL)

○申請書類チェックシート

⑩都市計画法第34条第11号(市街化縁辺集落)

	添付書類	明示内容(注意事項)
<input type="checkbox"/>	1 申請書	・申請書記入例を参照して記入
<input type="checkbox"/>	2 土地の登記事項証明書	・3ヶ月以内のもの
<input type="checkbox"/>	3 農地転用許可見込証明書 ▲	・農用地除外通知書写し、白地の証明等
<input type="checkbox"/>	4 位置図	・方位、縮尺 1/2500 以上 ・敷地の位置、形状を色枠等で明示 ・指定緊急避難所(洪水)までの避難経路、避難距離を明示
<input type="checkbox"/>	5 公図写し	・申請敷地を色枠等で明示 ・道路を赤色、水路を青色で表す
<input type="checkbox"/>	6 敷地現況図	・方位、縮尺 1/250 以上 ・敷地境界 ・周辺の公共施設
<input type="checkbox"/>	7 敷地求積図	・三斜求積図又は座標求積図(縮尺 1/250 以上) ・セットバックを伴う場合は、後退部分も求積
<input type="checkbox"/>	8 計画配置	・方位、縮尺 1/250 以上 ・敷地境界 ・周辺の公共施設 ・排水計画 ・予定建築物の配置 ・セットバックを伴う場合は、位置を明示 ・北側斜線制限の検討の記入*(例) $0m \times 1.25 + 5m = 0.00m \geq \text{軒先高} 0m$ ※指定路線沿いの土地は除く ・調整地または浸透型流出抑制施設の配置 ・地盤の改良等の安全対策(令第36条第1項イ関係)の要否 ※安全対策が不要な場合は分かるよう記載
<input type="checkbox"/>	9 敷地断面図	・予定建築物の位置、擁壁等を図示(2方向以上) ・縮尺 1/250 以上 ・現況、計画断面を兼ねる場合は分かるよう記載(例:現況=計画等)
<input type="checkbox"/>	10 各階平面図・立面図	・予定建築物の間取り、構造、高さ等を明示(縮尺 1/250 以上) ・建築物の居室の床高、浸水深を記載(洪水浸水想定区域内の場合) ※上記の記載に代わりに、矩計図の追加添付も可
<input type="checkbox"/>	11 建物求積図	・予定建築物の建築面積、延床面積の算出根拠 ・建ぺい率、容積率 ・縮尺 1/250 以上
<input type="checkbox"/>	12 現況写真	・周辺の状況、既存建築物等を確認できる写真(2方向以上) ・敷地境界を色枠等で囲む
<input type="checkbox"/>	13 土地使用承諾書 ▲	・申請者と土地所有者が異なる場合は添付(参考様式有)
<input type="checkbox"/>	14 防災施設構造図	・調整池または浸透型流出抑制施設の構造図
<input type="checkbox"/>	15 水理計算書▲	・標準図を採用しない場合は添付 ・調整池の容量、放流口及び余水吐の断面等の計算書または浸透型流出抑制施設の浸透(貯留)量計算書
<input type="checkbox"/>	16 現地浸透試験結果報告書▲	・浸透型流出抑制施設を採用する場合は添付 ただし、標準図記載の土質区分及び地下水位を採用する場合は添付不要 ・試験方法はポアホール法(定水位法)を標準とする。 ・透水係数は、 10^{-5}cm/sec を超える数値であること。
<input type="checkbox"/>	17 想定浸水深を示す図書	・国土交通省HP「浸水ナビ」の写し ・計画地の位置、基準点の位置及び最大浸水深を明示
<input type="checkbox"/>	18 避難経路等報告書	・安全上及び避難上の対策の実施が確実であることを報告 ・申請する土地、浸水する深さ、避難場所、避難距離など

《▲の書類は、必要に応じ添付してください。》